

授業概要

社会調査のプロセスにおいて、現地において実際に行う調査活動を総称して「フィールドワーク」という。広義には調査票を用いた量的調査もここに含むが、本講義においては質的調査に重点を置きながら、その意義と方法を学習する。

社会調査においては一般に、企画、設計、実査、データ整理、分析、報告、という手順をふむが、何よりも重要なのは「何をあきらかにしたいか」という問題意識とその質である。本講義においては社会学におけるフィールドワークの歴史を辿りながら、フィールドワークⅡにおける実査に向けて、理論や基礎概念を学び、同時に、基礎的な技法としての記録の取り方、まとめ方を学習する。

なお、フィールドワークに慣れるための学外授業を数回実施する予定である。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	フィールドワークとは何か
第 3 回	フィールドワークの歴史
第 4 回	質的調査と量的調査の違い
第 5 回	質的データの分析方法
第 6 回	研究テーマの決定に向けて1
第 7 回	研究テーマの決定に向けて2
第 8 回	予備調査の計画立案1
第 9 回	予備調査の計画立案2
第10回	記録の取り方(音声記録、映像記録、フィールドノーツ、他)
第11回	予備調査(シミュレーション)
第12回	予備調査データを文字データへ変換(書き起こし)
第13回	予備調査データのとりまとめ、報告用レジュメの作成
第14回	予備調査結果の報告・発表
第15回	予備調査の反省と問題意識の確認
第16回	報告書提出

到達目標

質的調査やフィールドワークの歴史や理論、概念の学習。

フィールドワークのための基礎的な方法や技法の学習。

問題意識の共有とワーキンググループの形成。

履修上の注意

本講義はフィールドワークを実際に行い、報告を行うことまでを目的とするため、ⅠとⅡを連続して受講することを求める。実際の調査を行うことから、受講者個々人が主体的、積極的に関わることを求める。授業形態はゼミ形式を採用する予定である。

予習復習

設定した自身の調査テーマに則した情報収集結果を毎回報告してもらう。

評価方法

平常点（授業態度等）40%、報告書内容 60%

テキスト

テキストは指定しない。必要に応じてプリントを配布する予定である。